

令和5年度 第7回 理事会議事録

日時：令和5年12月26日（火）19:00～20:20

場所：Web会議、県士会事務所

出席：(理事) 磯野、高村、三科、小林(司)、北山、井村

渡辺、鮎川、菊池、古屋、鈴木、大西、

平賀(篤)、有泉

(部長) 丸茂

(副部長) 平賀(満)、萱沼

書記：笹本

会員管理情報

慶事0件 弔事0件 施設数162

会員数979名 (施設924名 自宅55名)

磯野会長より挨拶

1年間お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

士会運営は新型コロナが5類になっても以前のような運営にはできず工夫しながらの1年であった。今年度は残り3か月となる。残っている事業は残りの期間でしっかりと実施して欲しい。来年度の事業計画、予算案の検討は元々局会議を開いていたが、今までのやり方で行うのか、新しい事業・やり方の検討を部員とともに考えて欲しい。

前回の理事会以降では、11月30日に山梨リハケア推進を考える会の研修で山縣先生をお呼びして県立文学館で参集方式で開いた。12月5日に会長・副会長・事務局局長が集まり三役会議を開催。早い形で返せるように三役会議を毎月定例で行うこととなり初めて開催した。12/6は東京でリハビリテーションを考える議員連盟の総会に参加した。12/19山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の理事会があり、昨日は山梨県主催の地域リハビリテーション推進会議で県が推進する次の3年間の事業計画を話し合う会議があった。リハビリテーションを考える議員連盟については、この度あるトリプル改定に向けて、一つはリハ専門職の賃金アップ、他には、包括支援センターにセラピストの配置、公文書で看護師等の「等」に何が含まれるのか三職種をしっかりと明記して欲しいことを厚生労働大臣に申し入れをしている。どこまで反映されるか分からないが、医療の方はプラス改定になると思う。今後も情報があれば、随時伝えていきたい。よろしくお願いします。

I. 審議事項

1. 士会主催の研修会等開催における感染対策指針について：感染対策委員会

前回の理事会で感染対策の指針を作成した方が良く意見があり。感染症対策委員会の中で検討し別紙の通り案を作成した。審議していただきたい。

質問・意見

・感染を疑わせる症状で37.5℃以上とあるが、平熱が高めの方は、平熱より1℃以上と補足を入れた方が良いのではないか。また嗅覚異常も記載した方が良い。

→厚生労働省の指標で37.5℃以上と記載されている。現場のスタッフは数字で明記した方が対応しやすい。説明する場合、厚生労働省の指標に則って対応していると伝えられるのではないかと。

→案は具体的で明確になっており良い。発熱については、通常微熱といわれるのが37℃以上であり、各施設・病院も37℃以上でチェックが入ってくると思う。そのため37℃設定にして、平熱の高い方は平熱プラス1℃以上と設定する方が良い。幅は持たせるが、発熱の基準を明確にした方が良い。少しずつ緩和していく方向で設定していると周知するのも大事。

・座席配置で最低1m確保とあるが、座席があるような場所の場合は、1mないと思うが1つの座席を開ける程度の配慮で良いのか。絶対に1m以上を守る形なのか。

→会場によっては、確実に1m確保は難しい場合がある。1mと明確にしないで、最大限距離を取るなどの記載で良いのではないかと。

→目安となる基準の数値は記載した方が良い。1m程度を基準としてはどうか。士会としての対応を周知することも目的の一つでもある。

・検査キットの購入・保管について、開催する部局の予算内で購入し対応するのか。

→総務部で購入することも可能だが、その都度届ける必要がある。各局の予算は問題ないと思うので開催する部局で参加人数に応じた数を購入するのはどうか。

・発熱があった場合は、参加の見合わせを依頼するが、検査等も含めて拒否された場合はどうするのか。

→基本的には拒否は無し。HPに感染対策の指針を掲載し参加者は確認した上で研修会に参加してもらう。

・「2類相当」「5類」と文言の修正あり。

・明確に作成してもらい有難い。現場でも感染対策が不透明な部分があり、不安の声があったので行動や準備等を明示して貰え、進め方など具体的に部員とも話せるので異論はなく運用していきたい。

・コロナの前も季節性インフル流行時には感染対策でマスクや消毒を受付で設置する等のマニュアルにあり対応してきた。今回はより厳しめの内容となるが、運用していきたい。

・マスクの着用については、「依頼する」ではなく、「原則マスクを着用する」が良い。

結論

- ・感染を疑わせる症状では「37℃以上」。「平熱の高い方は+1℃以上」と補足する。
- ・座席設置は、目安として1m程度の間隔を確保する。
- ・検査キットは、開催する部局が購入、対応する。
- ・上記訂正した上で案の通り進める。問題が生じれば、その都度修正する。

2. 令和5年度第2回企画研修部研修会案について：企画局

日時は3月10日(日)に高木先生(株式会社 Work sift 代表取締役)を講師にテーマ「診療報酬・介護報酬同時改定からリハビリテーション部門がすべきこと」の研修会を開催予定。生涯学習のポイント申請をする。案の通りでよろしいか。

質問、意見

- ・学会の教育講演のポイントの区分と重なっている。既に申請しており変更が難しい。可能であれば別の区分にして欲しい。

→ポイントの区分については、生涯学習局で管理しており半年に一度提示する。生涯学習局に確認すれば区分について把握できる。

結論

- ・区分について、生涯学習局に確認し再度検討をする。→その後「1-16 医療法並びに関連職種の資格法」となる。
- ・案の通り開催する。

3. 2023年度第4回学術研修会の会場変更について：学術研修部

11月の理事会において、第4回学術研修会の会場を「アピオ甲府」で審議をかけたが、「桃源文化会館」に変更したい。より広い会場となり、参加者同士のスペースや歩行路が確保しやすく実技が行いやすくなる。また、感染対策の配慮がより可能となる。

質問、意見

- ・遠くなるが、部員から過去使用して良かったと意見があった。
- ・過去使用していて、参加者が集まりにくい場所ではない。

結論

- ・場所は「桃源文化会館」に変更する。

4. 生活期リハビリテーション研修会のカリキュラムコード申請について：訪問理学療法委員会

2月3日(土)にテーマ「在宅リハビリへ踏み出そう！ 業者フェス！」の生活期リハビリテーション研修会を開催予定。研修会区分 12-145 住環境のポイント申請をしたい。案の通りでよろしいか。

質問、意見

- ・ポイントについて、生涯学習局へ確認した結果、問題は無い。

結論

- ・案を承認する。

II. 報告事項

1. 各委員会等の報告

- ・選挙管理委員会：日本理学療法士協会の代議員選挙について、山梨県に振り分けられている2名の代議員選挙が1月～3月にかけて実施される。立候補の受付が1月22日(月)正午から1月29日(月)正午まで、投票期間は2月19日(月)正午から3月3日(日)正午までとなる。立候補、投票はマイページから行う。また他に2名の補欠の代議員を決めないとならないが、代議員立候補の受付が終了した後には士会から推薦をする。

質問、意見

- ・選挙が行えると良いのではないか。

→HPとメール配信で周知する。

- ・選挙になった場合のどのような対応となるのか。

→協会が行う選挙となり、マイページでの対応となる。

- ・災害対策支援委員会：山梨県リハビリテーション専門職団体協議会災害対策支援委員会の参加報告について、12月18日(月)に大野先生(市川)、萱沼先生(赤十字)、伊藤先生(県中)が参加して3月2日・3日のファシリテーター研修、REHAG研修会の打ち合わせを行った。

質問、意見、補足

- ・協会からJIMTEFのフォローアップ研修の案内があった。アドバンスコースまで中山先生が受講されており、今回のフォローアップ研修についても受講したいと希望がある。また、東京都士会から山梨県士会に転入された会員が東京都士会で災害対策の活動、過去アドバンスコースまで受講していて、今回のフォローアップを受講したいと希望がある。協会の受講人数は通常1名で、2名参加の場合は1名分の費用を士会で対応する可能性がある。協会がフォローアップ研修費を補助するのは今年で最後となるため、今回2名が参加しても士会にかかる費用は変わらない。2名をJIMTEFのフォローアップ研修に推薦したいと考えている。

→2名の推薦を承認する。

- ・認知症対策委員会：専門職団体協議会映画上映会参加について、12月10日(日)大木記念ホールで映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」の上映会を実施。委員3人が出席し、会場での参加人数は50名ほどで、オンラインでの参加申し込みは100名あった。

- ・特別支援教育委員会：専門職団体協議会第2回研修会報告について

12月12日(火)に菊池先生(山梨県教育委員会)を講師に、「山梨県の特別支援教育の現状と外部専門家の活用について」の研修会を実施。約60名の参加があった。

- ・感染症対策委員会：アンケート結果について、来月集計結果を報告する。

2. 2023年度学術論文誌理学療法やまなしの発刊について

て：学術大会局

今年度も学術誌と学術集会誌の合冊で発刊予定。学術誌は特集記事1本、論文5本(査読完了)を掲載予定である。来年度はHPのみならず、学術集会発表者に向けて論文投稿を促せるよう活動をしていきたい。また、来年度は3士会合同の学術大会となるため、理学療法やまなしは学術誌のみの内容となる。論文投稿を会員に促していただきたい。

質問、意見

・冊子の厚みが懸念される。教育セッションや県士会の活動、各部局に相談しながら上手くセッションを設けてボリュームを確保して欲しい。

3. 第26回士会学術集会の進捗状況及び報告事項について：学術大会局

ブース設置について、社会局、福祉厚生局、訪問理学療法委員会、企画局、広報局の5件から届いている。ポスターや士会員へのメールで参加登録の啓発を行っている。1月にスタッフの初顔合わせ、2月に現地視察の予定。

4. 「令和5年度健康安全運動講座」について：社会局委託事業部

ダイハツ工業株式会社より、講師派遣依頼を受け甲府店は6月6日、10月24日に講師は、市川先生(白根徳州会病院)、数野先生(リハビリテーションこんね)、野澤先生(甲州聖愛ハッピークリニック)、古屋先生(韮崎市立病院)。富士吉田店は6月26日9月28日に講師として平賀先生(帝京科学大学)、羽田先生(ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院)、藤井先生(ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院)、宮下先生(介護老人保健施設はまなす)を派遣した。参加者は甲府店が10名、17名、富士吉田店が13名、5名となった。

5. スポーツ担当者会議について：社会局スポーツ理学療法部

10月20日に日本理学療法士協会関東甲信越ブロック協議会スポーツ関連事業運営委員会があり、小林先生(山梨大学医学部附属病院)が参加した。各県の報告の中で山梨は他県に比べて活動部員が少なく、今後の活動では部員を増やしていく必要がある。

6. 国際テニス大会について：社会局スポーツ理学療法部

11月13日～11月19日に大会名EDION CUP 2023 ITF Juniors in Yamanashiが開催され、延べ9名のスタッフが対応し、延べ24人の選手が対応を受けた(1日平均3.4人)。大会自体は問題なく対応できたが、スタッフが少なく1日2名体制の対応ができなかった。

7. 2024 JOC杯 U20・U17 全国予選大会関東ブロック大会について(レスリング)について：社会局スポーツ理学療法部

レスリング連盟から依頼あり12月26日に参加選手(211名)、大会関係者を対象に医務活動を部員5名で行

う予定。

8. 第76回スポーツ理学療法勉強会について：社会局スポーツ理学療法部

1月15日(月)に平山先生(早稲田大学スポーツ科学学術院 准教授)を講師に「現場で役立つこれだけは知っておくべきトレーニングの基礎知識」のテーマに勉強会を開催する。

9. 第24回地域理学療法研修会の開催報告について：福祉厚生局地域連携部

11月28日(火)に高岸先生(山梨県立大学)を講師に「よりよい最期を支援する為にみんなでACPについて理解を深めよう～もしバナゲーム実践も含め～」の研修会を開催。16名の参加があった。アンケートより、ACP自体は半数が認知していたが、残りの半数は名前を知っている程度で今回の研修を通して認識が深まった。

10. 2023年度第3回学術研修会開催報告について：学術研修局学術研修部

12月17日に安徳先生(元山梨大学医学部附属病院臨床助教)、渡邊先生(湯村温泉病院)を講師に「ダイアベティス時代の運動療法 患者かつ専門医としての目線から」の研修会をWEB開催。59名の参加があった。

11. X(旧ツイッター)について：広報局

先月の理事会で審議があり、試しにメーリングリストからの情報3件をスクリーンショットして配信した。無料だと140文字という制限があるため、開催内容等はスクリーンショットで載せて、URLでホームページに飛べるようにした。今後も同様の方法が良いと感じた。Xを始めたことをホームページとメーリングリストで周知する。学術のポスターや各研修等情報提供あればXに掲載したい。

12. 地域包括ケアのアンケートについて：福祉厚生局地域連携部

2か月前の理事会で報告した際に、回答例を提示して欲しいと意見があった。来月の理事会で提示する予定。

Ⅲ. 事務管理局より(有泉局長)

①ラインワークスの導入について

・士会DX化の一助として、ラインワークス導入を検討中。導入は三役会で了承済み。

・以下について、事務管理局に一任として良いか伺いたい。

1) 契約責任者：法人代表としての士会長(磯野会長)

2) 住所：会長施設(甲州リハの住所)

3) 実務担当者：事務管理局長(有泉)

4) 住所：事務管理局長施設(あけぼのの住所)

5) 登記情報：湯村温泉病院理学療法科

6) グループ名

7) 申し込みに関する連絡先：丸茂部長

・法人で契約するに最低20名のメンバーが必要。

今回は各理事・部長・委員長の計47名を登録し開始す

る。

- ・費用は月約 33000 円、年約 40 万円。スタンダードだと月約 27800 円、年約 33 万円となる。どちらのプランにするかは事務管理局で決める。

質問、意見、補足

- ・士会内のやりとりが出来る限りスムーズに行えること、実施したことがどこかに残っていること、この2つの要素を作る必要がある。一度試す形で導入したい。どういことが出来るのか次回資料の提示をして欲しい。
 - ・ラインワークスは Line の法人版で、個人ではなく法人で ID を取得。出来ることは、個人同士やグループを作成してやり取りや発信をすること、既読の確認、カレンダーでスケジュールの確認、設備予約、フォルダを作成して1テラバイトまでデータを保存、共有することが出来る。
- ②来年度事業計画（案）、来年度予算（案）について
- ・提出できるように準備をお願いしたい。
- ③ヤフーカレンダーについてについて
- ・1～3 月は、例年研修会等が多く開催される。ヤフーカレンダーの有効活用を再度お願いしたい。

IV. 次回の理事会日程について

日時 令和6年1月23日(火) 19:00～

場所 Web 会議

連絡 1月19日(金)までに審議事項および資料を事務管理局(有泉理事)へ提出する。

議題がない場合でも事務管理局へ連絡する。